



よろこび便り

天成会 小林内科診療所 腎透析センター

今年も残り 2 ヶ月となりました。気温も下がってきますので、風邪などひかないように 元気に
お過ごしください。

時々 シャントのトラブルが発生しますので、今回はシャントの感染予防についてお知らせします。

“ シャント感染予防のポイント ”

シャント肢を清潔に保ちましょう。

ペンレステープやリドカインテープを貼る前に その部分を石鹸できれいに洗いましょう。

止血後に貼ってある絆創膏は 翌日朝 必ずはがしてください。

(血液がついたままの絆創膏には細菌がたくさんついています)

透析して帰宅したあとに 絆創膏が濡れてしまったら、そのままにせず、
はがして手を洗い、翌朝まで清潔な絆創膏をはってください。

皮膚が乾燥すると細菌が入りやすい状態になります。

また乾燥すると痒みを伴うため、搔いてしまい、傷ができやすくなります。

傷が出来るとさらに感染しやすくなります。

シャントに異常を感じたら すぐに受診してください。

シャントが赤くなっている 腫れている 痛みがある
膿が出ている 音がしない などの異常があれば、
すぐに透析スタッフに連絡をし、受診をしてください。

注意



④ 歯周病と心臓病

歯周病と関連がある病気として「感染性心内膜炎」があります。

感染性心内膜炎とは

心臓の壁を覆っている心内膜に細菌などが感染して
炎症がおこり心臓の働きが低下する病気です。

歯周ポケットには大量の細菌が住みついていて、抜歯や出血を
伴う歯肉治療時に血液中に入り込んで発病する事があります。
現在は、上記の治療を行う時には予め抗生物質を予防的に
投与することがあります。

次回は・・・

歯周病と肺炎です。

歯周病菌は全身に悪影響を与えます

